

千葉県連海外登山<世界七大陸最高峰の一つに挑む>

オーストラリア大陸最高峰「コジオスコ山 2228m」に登る！

安彦秀夫（東葛山の会）

期日：2019年3月8日（金）～15日（金）<7泊8日>

参加者：東葛山の会 12名、ちば山の会 3名、山の会らんとん 2名、

君津ケルン山の会 1名、かがりび山の会 1名、

5会 19名（男性 8名、女性 11名）



『世界七大陸最高峰』の一つであるオーストラリア大陸最高峰『コジオスコ山 2228m』に、冷たい風が吹き付ける中、現地手配会社のガイド兼ドライバーの2人と共に、参加者 19名全員が笑顔（？）で山頂に立つことができました。

今回の日程は、次のとおりです。

<1>3/8（金）移動

成田空港 16：30→香港空港 21：05（乗継）23：55→シドニー空港+12：00

<2>3/9（土）シドニー市内観光

ガイドと合流後、専用車で『ミセスマックオーリーズ・ポイント』でハーバーブリッジとオペラハウスを背景に記念写真を撮り、オーストラリアの観光と山行がスタートしました。次いで、雨降る中、持ち物チェックを受け『オペラハウス』を見学後、ハーバーブリッジを渡り（勿論、車で！）『ミルソンズポイント』より再度、オペラハウスとハーバーブリッジを眺めました。『セントメリーズ大聖堂』を見学後、ホテ

ルにチェックインし、夕食はOG ビーフを各自で焼いて食べました。

その後、ドライバーの、ご厚意により、ミセスマックオーリーズ・ポイントを再び訪れ、夜景を堪能しました。諦めていた夜景を見ることができ感激しました。

<3>3/10 (日) ブルーマウンテンズの崖っぶち (断崖絶壁) トレッキング

シドニーから郊外のブルーマウンテンズへ。

初めに、『キングステーブルランド (リンカーンズ・ロック)』でスリルを味わい、『エコーポイント』で奇岩『スリーシスターズ』を眺め、広大な『ジャミソン・バレー』を見渡しました。

その後、『グロウズ・バレー』を右手に見ながら『エバンス展望台』から歩き始め、『ゴヴェツツリー展望台』でドライバーが運んでくれた昼食を摂り、『プルピットロック展望台』まで、

断崖絶壁沿いのトレッキングコースを、夏の日差しを浴びながらユーカリの林の中を歩きました。その後、今宵の宿の『ジェノランケーブ』へ。



<4>3/11 (月) 世界最古の『ジェノランケーブ (鍾乳洞)』見学

早朝、ロッジ近くの『ブルーレイク』で野生のカモノハシを捜した後、朝食を摂り、野生のカンガルー・ウォッチングを楽しみ、『シックス・フット・トレイル』をロッジまで歩きました。途中、地球最古の生物『ストロマトライト』を求めて洞窟に行ったのですが、落石の恐れがあり入ることはできず、遠くから眺めるにとどまりました。

昼食後、最も美しいと言われる『オリエントケーブ』と『テンプル・オブ・パール』の2つの鍾乳洞を見学しました。でかい！凄い！綺麗！幻想的！魅惑的！……

<5>3/12 (火) 移動 (ジェノランケーブ→キャンベラ/昼食→ジンダバイン)

どこまでも続く牧場の中を延々と走り、小さな町『Taralga/タラルガ』でトイレ休憩。ついでに雑貨屋に全員で入店。ガイド曰く『初めて日本人を迎えたのでは…』

車の燃料フィルターに警告灯が点き、『Cooma/クーマ』という町のTOYOTAで交換をしている間に、アウトドア店で『コジオスコ山登山地図』を入手しました(\$6.95)。

<6>3/13 (水) コジオスコ山登山

登山口スレドボ村(約1400m)より4人乗りチェアリフトで一気に1936mへ。鉄製格子状の道を冷たい向風を受けながら歩き、小高い丘『コジオスコ展望台』で、大きな丸い山の右肩に山頂を初めて望むことができました。

オーストラリア最高所2046mの『クータパタンバ湖』を見下ろし、オーストラリア最高所2125mのトイレ(ローソン峠)に寄り、砂利道を回り込むように登り、オーストラリア大陸最高峰コジオスコ山山頂2228mに全員で立ちました。

360度の大展望を満喫した後、記念写真を撮り、登ってきた道を下り、オーストラリア最高所1936mのレストラン『イーグルネスト』で、展望を楽しみながら遅めの昼食を摂りホテルに戻りました。

標高差約300mの僅か4時間30分の往復トレッキングでしたが、私を含めて皆さん

体調がすぐれなかったようで、疲れ切った感じでした。でも、登頂したぞー！

<7>3/14 (木) 移動 (ジンダバイン→キャンベラ/観光/昼食→シドニー)

キャンベラで、『国会議事堂』と『オーストラリア戦争記念館』を見学し、和食レストラン『庵 IORI』で昼食を摂り、『マウントエインズリー展望台 842m』よりキャンベラ市街を眺めました。

シドニー空港に向かう途中で『THE BIG MERINO』のガソリンスタンドに寄り、トイレ休憩した頃より雲行きがおかしくなってきました。遂に、真っ暗になり稲妻が光りどしゃ降りの雨になりました。路肩に停まっている車もありました。

それでもほぼ予定通りに空港に着き、ガイド兼ドライバーの2人に感謝の挨拶をしてチェックインの列に並びました。

<8>3/15 (金) 帰国

3/14 シドニー空港 22:20→香港空港 5:00 (乗継) 8:10→成田空港 13:10

参加者 19 名全員が無事成田空港に戻り、入国手続き後、荷物を受け取り、思い出を胸に各自がそれぞれ家路に就きました。



◆トラブルあれこれ

最初のシドニーのホテルでは、いくつかのトラブルが続出しました。

- ① 部屋に入ったら、先客の荷物が既に置いてあり直ぐ部屋を交換してもらいました。ダブルブッキングってあるんですね。先客と鉢合わせをしなくて良かったね。
- ② 2 ベッド予約にも拘らず、1 ベッドの部屋がありました。該当者が了承したので、そのまま使用しましたが、寝返りの度に揺れて良く眠れなかったとか…。
- ③ 『バスタブの栓が無い…』と言われたのですが、夜も遅く自分の部屋の栓を渡して対応してもらいました。エレベーターを使用できなく階段を使ったとのこと。カードキーを挿入してエレベーターを使用するシステムでしたが、自分の階より上には行けないのかも… (未確認ですが…)
- ④ 朝食の時間に現れないので部屋に電話をしたら、『+2 時間』の時差を忘れていたようでした。ホテル出発の集合時間に間に合って良かったね。

◆山行を終えて

風邪(?)をひいた人が多かったようですが、大きな怪我・事故もなく終了することができてホッとしています。また、天候も味方してくれ、コジオスコ山登山を初め、ブルーマウンテンズの『Cliff Top Track』やジェノランケープ近郊の『Six Foot Trail』のトレッキングの際には、夏を思わせるような太陽の下を歩くことができました。

現地の旅行会社『IEC Oceania Pty. Ltd.』の話術巧みなガイドの説明により、楽しくオーストラリアの大自然を全身で味わうことができました。

また、今回の山行を手配し、私の希望を現地の会社と粘り強く交渉していただいた『株式会社ワイルド・ナビゲーション』に感謝します。

最後に、不手際もある中、辛抱強く協力をしていただきました参加者の皆さんに感謝します。ありがとうございました。(2019/3/28/Thu.)